

みんなねっと 福井県かれん新聞第110号 (奇数月発行)

事務局 ホットサポートふくい内〒910-0026 福井市光陽2-3-36

福井県総合福祉相談所内 Tel 0776-24-5135

1) みんなねっと福井けんかれん 2025年(令和7年)5月1日

* 障がいを活かす

巳年

もくじ

- ・
- ・ 6月21日、県総会・講演会について ・(1)
- ・ 家族相談研修会の報告 ・・・・(2)
- ・ 報告、ホームページなど ・・・・(3)
- ・ 体験記 群馬県連より ・・・・(4)

福井県家連 総会と講演会

とき：6月21日(土) ところ：福井県立図書館

総会 13:00～

講演会 13:20～

講師：山口達也氏(福井県立病院認定看護師)



演題：病気からの回復について

プロフィール

2003年 福井県立病院入職

2013年 精神看護専門看護師資格取得

現在、福井県立病院こころの医療センター こころ外来勤務

精神看護専門看護師の他、特定行為看護師、精神保健福祉士、公認心理師、介護支援専門員資格を有し、一般科に入院中の患者さんに対する精神科リエゾン活動や医療スタッフのメンタルヘルス支援も担っている。

2) みんなねっと 福井けんかれん新聞 2025年 5月1日

福井県家連 家族相談研修会は、3月15日（土）午前10時に福井県自治会館で

開催されました。講師は、川村みどり氏（福井県立大学看護福祉学部看護学科 教授）で、テーマ：相談にのる時、相談を受ける時で約20名の参加者でした。研修会前、9:20~9:50 音楽イベントライブ 栗谷行男氏がありました。。

以下、川村氏の資料を一部紹介します。

■オープンダイアログ（開かれた対話）について

「クライアントのことについて、スタッフだけで話すのを やめる」

1984 年に、フィンランドの西ランプランド地方ケロプダス病院で、患者の入院手続きに際して、患者本人と家族、同僚や友人、関係のある専門家を集める手法をとるようになったのが、オープンダイアログの始まりといわれています。急性期の統合失調症をはじめ様々な精神障害をもつ人達が、関係性の修復的対話によって回復するオープンダイアログは、精神科医 斎藤環により本邦に紹介されました（**2015**）。

◇リフレクティング

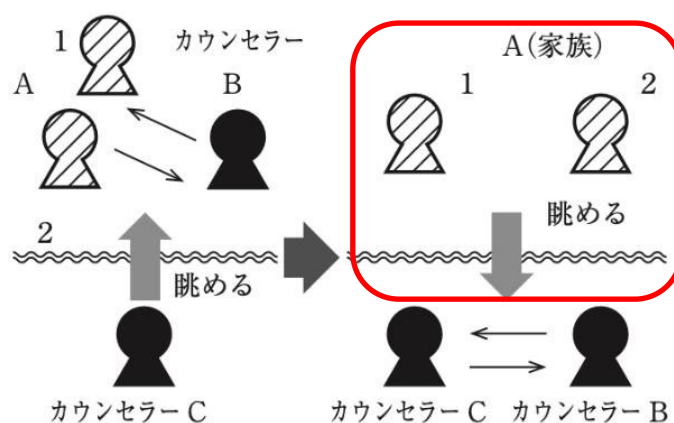


図2 「会話についての会話」を眺める場

スタッフ同

士が参加者の目の前で、話を聞いている際に心に浮かんだ考え、印象、感情、関連性について語ったり、今後の治療計画について相談したりします。

家族療法の手法で、トム・アンデルセンが提唱しました。

3) みんなねっと 福井けんかれん新聞 2025年 5月1日

報告

- ・ 3月12日(水) 1:30～社会参加推進協議会 県社協センター 小寺
- ・ 3月17日(木) 1:30～福井県障がい者施策推進協議会 塩谷、小寺
- ・ 3月24日(月) 1:30～社会参加 精神部会 県社協センター
出店、長谷川、塩谷、小寺
- ・ 3月25日(火) 2:00～しあわせスポーツ協会 理事会 県営体育館
、塩谷、小寺

*県家連のホームページ PC やスマホから見てください。

福井県精神保健福祉家族会連合会(けんかれん)



アドレス <https://fukui-kenkaren.com/>

投稿歓迎します。

宛先: r_henmi@standtogether-fukushi.com

下記は投稿例。



苗

2025年04月29日(火) 苗買いに行った。連休中で多くの苗が売られていた。価格もいろいろだ。どう育つか分からないので、選択は難しく、丈夫そうなものを選んだ。培養土も売られている。ポットでも栽培できる。 k k

4) みんなねっと 福井けんかれん新聞 2025年 5月1日
県家連ホームページ、 毎日、更新して、挿絵を前進主義の利用者に描いてもらっています。



皐月晴れ

2025年05月01日(木) 朝は気温が低いが、昼は27度の予想で、晴天だ。今1年で一番過ごしやすい気候でこれを活動に利用しなくてはと思う。サツキも紫、

白など満開。KK



黒部市 2025年04月30日(水) 富山から電車で30分、Y

KKの本社がある。新幹線があるので普通電車で福井からは不便になった。黒部峡谷も有名だ。親戚に用事があって出かけた。

kk